

発行：利尻島自然情報センター 利尻町杓形字富士見町 小杉和樹 〒097-0401 Fax 0163-84-3145

気持ち良く駆除会！！

5月20日（日）、今年最初の駆除会を実施しました。当日は、とても穏やかな天候となり、参加者も島内からアクティブレンジャーを含め16人、稚内から1名の利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの方が応援にきてくれて、総勢17人で2,716本を駆除しました。

やはり、シーズン初めの駆除会は参加者が多く、賑やか且つ楽しく、そして何よりも、心地よく作業を進めることが出来ました。

駆除は、入り口の北側を中心に行いましたが、昨年の駆除効果と今年4月下旬からの駆除が相まって、個体は小さなものが多く、この辺りの駆除は相当進んだという感じです。ただ、小さな実生個体が限りなくあって、暫くは採っても採っても切り限りがないという状況は続きそうです…。

さて、今年5月末までの駆除実績は、下表のとおりですが、4月早々



から積極的な駆除作業をしていただき、既に3万本近い駆除数となっています。これからは個体も大きくなってきますので、作業は大変でしょうが、引き続きよろしくをお願いします。

2018年第2回駆除会

2018年の第2回目の駆除会を下記の通り行います。いつも通り、興味のある方へのお声がけもしていただければ、とても嬉しいです。当日は、利尻島で初めての「井上陽水コンサート」が開催されますが、駆除会に参加いただければ幸いです。

○日 時：6月23日（土）午前9時半から11時半まで

○場 所：南浜湿原

○その他：小雨決行

なお、7月以降の駆除会も概ね以下のような日程を想定していますが、決定ではありませんので、決定しましたらこの防除通信でお知らせします。7月16日（月・海の日）北麓野営場、7月29日（日）オタトマリ沼、8月19日（日）南浜湿原、9月23日（土）南浜湿原

これまで、そして、これから

突然の「ヒグマ上陸」のニュース。明治45年にも記録がありましたから、実に106年ぶりで、やはり泳いで渡ってくるのですね…。驚きです。

明治の時も、島民はヒグマの上陸を恐れ、執拗に探し回り、撲殺しました。6月4日にもまた、糞や足跡が新たに確認されたとのことで、終息の見込みが立っていません…。

利尻島におけるヒグマとの関係は、北海道本土とは違うので、どうしても外来生物的な見方や考え方をしてしまうことの不適切さはあるかもしれませんが、イレギュラーな上陸は、やはり阻止したいというのが正直なところで…。ただただ、早く利尻島から出て行って欲しいと願っています。

一方で、ヒグマもオオハンゴンソウにも、命を繋ぐという生物本来の強さを感じています。そう云った生き物たちと私たちは共に生きて行かなくてはならないのですから、私たちも強く、そして思慮深くあらねばならないと思います。



	種富湿原	南浜湿原	オタトマリ沼	仙法志	杓形	鬼脇	鴛泊	計
2017年実績	5,330本	66,865本	381本	8本	4,814本	0本	0本	77,398本
2018年実績	840本	26,705本	0本	0本	0本	0本	0本	27,545本

2018年実績は、5月末までに報告のあった数の集計です。作業をされた方は場所、日時、駆除本数を毎月末までに報告して下さい。（この通信は環境省グリーンワーカー事業「平成30年度利尻島外来種除去等業務」を受託して発行しています。）